

2019年1月

講演会「高温ガス炉の国際展開」
高温ガス炉プラント研究会(RAHP) 第13回定期講演会
開催のご案内

高温ガス炉プラント研究会 事務局
株式会社桜門イノベーションリサーチ

21世紀において70億人を越えた人類は、水・資源・エネルギー確保、地球環境の保全、社会経済の発展という3つの課題を同時解決し、持続可能な発展を達成しなければなりません。これらに対して原子力は大きく貢献すべきであり、また期待されていると考えます。かかる観点から、原子力エネルギーを有効に活用するには、安全性確保を第一にし、発電のみならず発生する熱をも有効に活用していく必要があります。この原子力エネルギーの安全かつ拡大利用の一層の向上に応えるものとして、高温ガス炉プラントは大きな可能性を持っていると考えられます。

高温ガス炉プラント研究会では、大きな夢につながる技術として若い世代の方々にも関心を深めていただくために、学生・大学院生及び研究機関・産業界の研究者・エンジニアを対象にした講演会を定期的開催しています。多数の方々の参加をお待ちしています。

- ・ 日時 : 2019年2月7日(木) 13:00 ~ 17:00 (開場 12:40)
- ・ 場所 : 東京大学 武田先端知ビル 武田ホール
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
交通アクセス: http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html
- ・ 参加費 : 参加料、配付資料とも無料
- ・ 主催 : 高温ガス炉プラント研究会、東京大学(共催)
- ・ 後援 : 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
- ・ 定員 : 100名
- ・ 参加申込み : 参加者の氏名・所属・連絡先をご記入の上、2019年1月25日(金)までに下記宛ご連絡下さい。

高温ガス炉プラント研究会事務局

E-mail : omonrahp@jcom.zaq.ne.jp

なお申込みが定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

「高温ガス炉プラント研究会」は、事務局を株式会社桜門イノベーションリサーチに置き、岡本孝司東京大学教授を会長として学識経験者、電力、メーカー他で構成し、高温ガス炉プラントに関する技術、経済性、安全性、内外動向、開発シナリオの検討、理解活動等を行っています。

講演会 「高温ガス炉の国際展開」
高温ガス炉プラント研究会 第13 回定期講演会
◆ プログラム ◆

高温ガス炉プラント研究会 事務局
株式会社桜門イノベーションリサーチ

日 時	2019年2月7日(木) 13:00 ~ 17:00 (開場 12:40)
場 所	東京大学 武田先端知ビル 武田ホール
主 催	高温ガス炉プラント研究会、東京大学(共催)
後 援	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

司会: 高温ガス炉プラント研究会 大橋 一孝 (富士電機株式会社)

1. 開会挨拶 (13:00~13:10)	高温ガス炉プラント研究会 会長 岡本 孝司
2. 来賓挨拶 (13:10~13:20)	武田 伸二郎氏 経済産業省資源エネルギー庁 原子力国際協力推進室長
3. 基調講演 「高温ガス炉が開く未来へ」 (13:20~13:55)	増子 宏 氏 文部科学省大臣官房審議官(研究開発局担当)
4. 高温ガス炉の国際展開 (1)「電力市場環境の変化と SMR の普及可能性」 (13:55~14:30)	田中 隆則 氏 (公財)原子力環境整備促進・資金管理センター 専務理事
(2)「小型モジュール炉(SMR)としての高温ガス炉開発」 (14:30~15:05)	國富 一彦 氏 (国研)日本原子力研究開発機構 高速炉・新型炉研究開発部門 副部門長
***** 休 憩	(15:05~15:20) *****
(3)「高温ガス炉の実用化に向けた取り組みへの期待」 (15:20~15:55)	高橋 明男 氏 (一社)日本原子力産業協会 理事長
5. 高温ガス炉プラント研究会 活動報告 「高温ガス炉に関する国内外動向調査報告」 (15:55~16:30)	伊与久 達夫 氏 高温ガス炉プラント研究会テクニカルアドバイザー、日本原子力研究開発機構 高温工学試験研究部 嘱託(元部長)
6. 総括 「高温ガス炉開発の進め方について」 (16:30~16:55)	岡本 孝司 氏 東京大学大学院工学系研究科 原子力専攻 教授
7. 閉会 (16:55~17:00)	高温ガス炉プラント研究会 谷平 正典 (三菱重工業株式会社)

- ・講演タイトルは変更することがあります。
- ・各講演には質疑応答 5 分を含む。

講演者略歴(講演順)

増子 宏 氏

1988 科学技術庁入庁。1994-1995 米ジョージワシントン大学 客員研究員。1995-1997 科学技術振興局 企画課補佐。1997-1999 原子力局 動力炉開発課補佐。1999-2002 在英国大使館一等書記官。2002-2003 文部科学省科学技術学術政策局政策課補佐。2003-2005 科学技術学術政策局調査調整課 科学技術振興調整費室長。2005-2007 大臣官房人事課 人事企画官。2007-2009 研究開発局地震・防災研究課長。2009-2011 科学技術学術政策局科学技術学術戦略官(地域科学技術担当)。2011-2013 日立製作所研究開発本部シニアストラテジースタッフ。2013-2015 研究開発局原子力課長。2015-2017 大臣官房会計課長。2017- 大臣官房審議官(研究開発局担当)(現職)。

田中 隆則 氏

1979年4月 通商産業省(現経済産業省)入省。1992年11月 国際原子力機関(IAEA) 原子力安全部上級専門職。1997年7月 東北通商産業局 公益事業部長。2003年10月 原子力安全・保安院 原子力安全広報課長。2005年7月 経済協力開発機構/原子力機関(OECD/NEA) 次長。2008年7月 経済産業省退官。2008年8月 (財)エネルギー総合工学研究所 理事兼原子力工学センター長。2011年6月 (一社)日本原子力学会 理事。2015年6月 (一財)エネルギー総合工学研究所 常務理事兼原子力工学センター長、(一社)日本原子力学会 副会長(2017年6月まで)。2017年6月 (一財)エネルギー総合工学研究所 研究顧問。2017年11月 (公財)原子力環境整備促進・資金管理センター 専務理事(現職)。

國富 一彦 氏

1979年 日本原子力研究所入所。1990年 工学博士。1990~1991年 マサチューセッツ工科大学 客員研究員。1998年 主任研究員。2014年 日本原子力研究開発機構 高温ガス炉水素・熱利用研究センター長。2018年 高速炉・新型炉研究開発部門 副部門長(現職)。

高橋 明男 氏

1976年4月 東京電力(株)入社。2002年7月 同社 原子力管理部技術総括グループマネージャー。2005年6月 同社 福島第二原子力発電所長。2007年6月 同社 執行役員 原子力・立地本部 柏崎刈羽原子力発電所長。2010年6月 同社 フェロー。2015年6月 (一社)日本原子力産業協会 理事長(現職)。

伊与久 達夫 氏

1979~2014年 旧日本原子力研究所及び日本原子力研究開発機構にて、一貫して高温ガス炉(HTGR)開発に従事し、高温工学試験研究炉(HTR:我が国初のHTGR)の設計・建設・試験等を経験。元HTR 部長。現在はHTRの再稼働に向けた新規制基準対応を囑託としてサポート。

13th “Research Association of HTGR Plant (RAHP)” Annual Symposium
-The International Expansion of High Temperature Gas-cooled Reactor -

- 1) Date : 1300 to 1700, February 7 (Thursday), 2019
- 2) Place : Takeda Hall, Tokyo University, Tokyo, Japan
Traffic Access : http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html
- 3) Presentations (Chairperson : Kazutaka Ohashi, Fuji Electric Co., Ltd) :

“Opening Remarks” (13:00-13:20)
▪ Koji Okamoto, Chairperson of RAHP
▪ Shinjiro Takeda, METI/Agency for Natural Resources and Energy, Manager,
Nuclear International Cooperation Promotion Office

“Key Note Speech ” (13:20-13:55)
-High-Temperature Gas-cooled Reactor to Pioneered Future-
Hiroshi Masuko, Director-General for International Nuclear and Fusion Energy
Affairs, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

“The International Expansion of High Temperature Gas-cooled Reactor”
- Change of Energy Sector and Spread Potential of SMR - (13:55-14:30)
Takanori Tanaka, Executive Director, Radioactive Waste Management
Funding and Research Center

- HTGR Development as the Small-sized Modular Reactor- (14:30-15:05)
Kazuhiko Kunitomi, Ph.D., Director General, Sector of Fast Reactor and
Advanced Reactor Research and Development, Japan Atomic Energy Agency

*** Coffee break (15:05-15:20) ***

**- Expecting Activities toward Commercialization of High-Temperature Gas-cooled
Reactors (HTGRs)-** (15:20-15:55)
Akio Takahashi, President, Japan Atomic Industrial Forum, Inc.

“Study Report of RAHP Activities”
-Domestic and Abroad Trend Survey on High Temperature Gas-cooled Reactor-
(15:55-16:30)
Tatsuo Iyoku, Technical Advisor of RAHP, Associate(Former Manager),
Department of HTTR, Sector of Nuclear Science Research, JAEA

“Conclusion” (16:30-16:55)
- Strategy of HTGR Development -
Koji Okamoto, Ph.D., Prof. of Tokyo University

“Closing Remarks” (16:55-17:00)
Masanori Tanihira, Mitsubishi Heavy Industries, Ltd

5minutes of Questions and Answers are included in each presentation time.

----- Secretariat of RAHP -----

The Omon Innovation Research, Inc. E-mail: omonrahp@jcom.zaq.ne.jp